

イネの成長・免疫

バランス調整仕組み解明

近畿大など

【東大阪】近畿大学 長と免疫のバランスを
の川崎努教授らの研究 調整する仕組みを解明
グループは、イネの成 した。イネの免疫誘導

で重要な役割を果たす
PBI-1というたんぱ
く質を発見。PBI-1
を解析し、イネの免疫
系で重要な役割を果た
すWRKY45という転
写因子の活性を制御し
ていることを見いだし

た。不要な免疫誘導が
生じないようにPBI
1がWRKY45を抑制
しているという。

今後はゲノム編集な

どでPBI-1の分解に
伴い、WRKY45によ
る強い免疫反応の誘導
が可能になると見込
む。病気に強いイネの
開発につながると期待
される。大阪大学、横
浜国立大学、岩手生物

工学研究センター（岩
手県北上市）、農業・
食品産業技術総合研究
機構（茨城県つくば市）
などとの共同研究。

近畿大の川崎教授は
「うまく機能すれば農
薬使用の削減などにつ
ながるのでは」と話し
ている。成果は16日、
英科学誌ネイチャー・
コミュニケーションズ
電子版に掲載された。